

ISO 20784

Sensory analysis – Guidance on substantiation for sensory and consumer product claims

官能分析－官能及び消費者製品の主張の実証に関するガイダンス

1. 規格の概要

この文書は、食品と食品以外の製品に関する感覚上の主張を立証するため、及びそうした製品を日用消費財として広告するための包装に関するガイドラインを示すものである。

この文書では、感覚上の主張を他のタイプの主張からは区別している。

この文書は、感覚上の主張の多様な実例と、その分類を示している。

この文書では、感覚上の主張の立証のための試験に関連して、特に気をつけるべき問題もハイライトしている。これにはいくつかの事例研究と参考文献も含まれている。

2. 規格の構成（作成中）

まえがき

序文

- 1 適用範囲
- 2 引用規格
- 3 用語と定義
- 4 一般的懸案事項
- 5 官能主張の実証のためのガイド
 - 5.1 一般
 - 5.2 政府の法律や規制の見直し
 - 5.3 主な主張事項の定義と、それに対応するテストの設計
 - 5.4 主張の種類の設定：単一製品または比較試験
 - 5.5 判断基準の定義
 - 5.6 関連製品群の定義
 - 5.7 関連する消費者または評価者の集団の定義
 - 5.8 エビデンスの強さの定義
 - 5.9 公平性の確保
 - 5.10 信頼性の確保
- 6 官能主張の分類
 - 6.1 分類
 - 6.2 表現
 - 6.3 非比較的な感覚の主張

6.4 比較的な感覚の主張

7 方法

附属書A (参考) 感覚的な主張のケーススタディ

附属書B (参考) 試験における統計的検定数の関数としての Type I エラー率

参考文献